

8部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 平成26年度(2014年)9月卒業の方へ

9月27日付の卒業確定者には、9月10日以降履修状況票などを順次お送りさせていただいております。ご確認ください。今年の9月卒業予定者は約70名となっております。卒業される方には、ここまでのご努力が報われたことを心よりお祝いたします。

2 平成26年度(2015年)3月卒業希望の方へ

1 卒業試験の申込み

平成26年度(2015年)3月卒業希望者で「卒業研究」完成見込者、および以前の卒業試験合格者以外は、9・10・12・1月の科目修了試験の際に「卒業試験」を受験し合格する必要があります。

卒業試験は、90単位以上(入学時の認定単位を含む)修得者で3月に卒業する意思のある方は受験できます。『学習の手引き』5章に問題も公開されていますので、早めに受験するようにお願いいたします。

2 卒業までの諸期限について

3月卒業希望者は、1月科目修了試験(申込・レポート締切12/19)までの受験や、1/10必着で初回のレポートを提出するなど学習のための期限が定められています。『学習の手引き』5章でご確認ください。

卒業までの履修登録単位数が不足している方は、次号の『With』でご案内する11月の追加履修登録をご利用ください。

なお、スクーリングは、原則2/20までに受講となっています。3/1以降のスクーリング受講希望者は、下記のとおりとなります。

- 1) 2～3月の「社会福祉援助技術実習指導A」「教育実習の事前事後指導」「障害者(児)教育実習の事前・事後指導」「肢体不自由教育」「社会保障論VTR」は3月卒業希望者は受講できません。申込みを行うと、3月卒業希望者の登録から削除させていただきます。
- 2) 3/7・8のスクーリング受講予定者 「心理学研究法Ⅱ」の1・2単位めレポートは3/10午前必着とします。その他別途手続きは必要ありませんが、3/20の卒業式には出席できない可能性がありますので、ご了承ください。
- 3) 3/13～22のスクーリング受講予定者 来年1/10までに110単位以上を修得した上で、(1)学籍番号・氏名、(2)3/13～22までのスクーリング受講希望科目と会場、(3)3月卒業希望者で3/13～22のスクーリングを受講したいことを明記して、別途書面で届出を提出してください。さらに、卒業は3/31付となるため、3/20の卒業式には出席できません。
- 4) 今年度のオンデマンド・スクーリングについては、すべて受講は可能ですが、3月卒業希望者はスクーリング試験提出期限が2月20日正午となります。『試験・スクーリング 情報ブック2014』p.56～59でご確認ください。

3 平成27年度9月卒業希望で 「卒業研究」受講希望の方へ

平成27(2015)年9月以降の卒業予定者で「卒業研究」の受講を希望する方は、『レポート課題集2014(心理・教職編)』p.126～134をよく読んで、同冊子巻末の「卒業研究 申込用紙」に必要事項を記入し、10/

5 必着で持参，または配達記録の残る書留や宅配便でお申込みください。

10/6以降本学到着分は受理できません。

現在，履修登録をしていない方が申込み場合は，11月の「追加履修登録」を行えば受講可能です。受講の可否，指導教員決定通知は11/1までにご連絡いたします。

4 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士指定科目の演習，実習指導スクーリングは定員制です。期限までにスクーリング受講料が未入金の場合，受講を辞退したものとみなし，他の方に受講の権利をおまわしすることがあります。

社会福祉士の演習，実習に関するメールのご質問はuj@tfu-mail.tfu.ac.jpへお願いいたします。

1 発送物のご案内

「★■演習A」「◆演習Ⅰ」スクーリング7月・8月受講者

スクーリング成績結果発送 8月19日までに発送済

社会福祉士課程履修費納入依頼書（「★■演習A」受講者のみ） 8月19日までに発送済

「★■演習B」「◆演習Ⅱ」スクーリング（納入依頼書・受講許可証）

9月受講者分 9月20日発送済

10・11月受講者分 9月25日発送予定（9/15受講条件達成者）

10月25日発送予定（10/15受講条件達成者）

「★■実習指導B-3」「◆実習事後指導」スクーリング（9月30日締切分）

納入依頼書なし 受講許可証（A4用紙） 10月10日発送予定

「★■演習C-2」スクーリング（9月30日締切分）

納入依頼書・受講許可証 10月10日発送予定

「★■演習C-1+C-2」スクーリング（7月27・28日受講者）

スクーリング成績結果発送 9月10日発送済

「◆実習巡回指導教員決定通知」（9～12月実習受講者）

すでに9月実習開始の方には送付済み（10月以降受講者は実習前月上旬に発送予定）

「◆実習申込受講判定結果通知」（8月申込者） 9月20日発送済

2 「★■演習A」「◆演習I」のスクーリング申込みについて

2年生以上で11/15～16（新潟）のスクーリング申込みは10/15締切（『試験・スクーリング 情報ブック2014』より変更）、来年1/24～25（仙台）のスクーリング申込みは、11/30締切です。巻末の申込用紙を締切日までに提出ください。

※スクーリング受講条件は、各申込締切日（新潟10/15、仙台11/30）までに満たしてください。受講条件は『学習の手引き』でご確認ください。

※レポート課題は、『レポート課題集（社会福祉編）』をご参照ください。

3 「★■演習B」「◆演習II」のスクーリング申込みについて

3年生以上で、9月～11月分の受講を希望する方のスクーリング申込みは9/15で締め切りました。10/15までに受講条件を満たせなかった方には10/25ごろまでに不許可通知を送付します。

※2回目の判定日10/15で、下記①②③の受講条件を満たさそうと思う場合、レポートは10/15必着でご提出ください。

※ 2回目の判定日10/15で受講条件を満たした方は、11月のスクーリングとなり、希望された日程・会場での受講はできません。

※判定日を過ぎて提出されたレポートなどは、受講条件に含まれません。また受講条件の緩和などありません。

「演習B・II」スクーリング受講条件

- ①10/15までに「社会福祉援助技術総論」（旧カリ「社会福祉援助技術論Ⅰ」）・「社会福祉援助技術演習A」（旧カリ「社会福祉援助技術演習Ⅰ」）の2科目分すべてのレポート提出。
- ②10/15までに上記2科目以外に社会福祉士・指定科目のなかから4科目分すべてのレポートを提出（個別単位認定科目を除く）。
- ③10/15までに「社会福祉援助技術演習B・II」の1単位めレポートを提出。
- ④（入学から1年以上経過して申込む場合）10/15までに一括認定単位を除き20単位以上を修得。
- ⑤9/15までに「社会福祉士養成課程履修費」を納入済みであること（新カリのみ）。

4 来年度に実習希望の方へ

3年生以上で 来年度実習を希望する方の申込みは9/15で締め切りしました。申込受理条件を満たせなかった方には、最終判定日（1/31）から2週間程度で不許可通知をお送りします。

- ①申込受理条件の判定日は10/31 or 11/30 or 12/20 or 1/31です。

※実習申込みが受理された方に、各判定日から2週間程度で連絡（封書）します。条件を満たせなかった方には、最終受理判定日（1/

31) から2週間程度で連絡(封書)します。

②実習申込受理条件を満たした判定日以降、実習依頼を開始します。

※受理条件は、『実習の手引き 第1分冊 2014年度版』または『学習の手引き』をご参照ください。

※受理条件の緩和はありません。

③実習が許可されるには、社会福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲を持っていること、および社会的なルールが守れることが必要です。

※「スクーリングに遅刻・早退する、許可なく自家用車で来校する、レポートなどの提出期限や納入期限が守れない、書類を紛失する、行動や感情をコントロールできない、実習日の変更を大学の許可なく行う、実習指導者・担当教員の指示に従えない」などの場合、実習は行えません。

5 国家試験を受験される方へ (社会福祉士・精神保健福祉士共通)

今年度の第27回社会福祉士国家試験・第17回精神保健福祉士国家試験を受験される方の証明書の申請方法は『With』100号 p. 77～78(精保の方は、「社会福祉士」を「精神保健福祉士」と読み替えてください)をご覧ください(証明書申請締切日は、9/25です)。

試験センターへの受験申込みも各自で行ってください。受付期間は平成26年9月4日(木)～10月3日(金)(消印有効)までとなっています。今年度受験予定でまだ申込みを行っていない方はお急ぎください。

国家試験申込者は、できるだけ時間を割いて受験対策の勉強を行ってく

ださい。参考書や模擬試験の選び方など受験対策の学習方法が不明な方は、ご遠慮なく通信教育部 実習係までお問い合わせください。

社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験の出題基準・合格基準は、「社会福祉振興・試験センター」のホームページの「出題基準・合格基準」<http://www.sssc.or.jp/>をご覧ください。

※国家試験の受験日後、『学習の手引き』または『実習の手引き 第1分冊』の巻末様式「国家試験受験番号連絡票（国家試験証明書申請用紙）」を通信教育部にお送りください（受験しなかった場合もご提出ください）。

6 精神保健福祉士 取得希望の方へ

◆★：旧カリキュラム（平成23年度以前入学者）

■：新カリキュラム（平成24年度以降入学者）

精神保健福祉士関連メール問い合わせ先：psw@tfu-mail.tfu.ac.jp

1 発送物のご案内

◆★「精神保健福祉援助演習」小テスト出題範囲 11月「◆★精保演習」受講希望者（11月開講となった場合）10月中旬発送予定 ※詳細は次項2「◆★精保演習」申込について参照

■「精神保健福祉援助実習A」担当巡回指導教員の通知 平成26年度10～2月「■精保実習A」受講者 対象者に9/30までに発送

■「精神保健福祉援助実習A事後指導（精保演習B-2・実習指導A-2・帰校指導・精保実習B選考試験）受講申込カード」（開講日：平成27年1/24・25または3/7・8）の送付 平成26年度10～2月「■精保実

習A」受講者 ※申込期日：10/31(金)必着 対象者に9月下旬～10月上旬に発送

■「精神保健福祉援助実習B（精保演習C-2・実習指導B-2・帰校指導）事後指導受講申込カード」（開講日：11/29・30または平成27年2/14・15）の送付 平成26年度7～12月「■精保実習B」受講者 ※申込期日：10/31(金)必着 対象者に9/30までに発送

◆★「精神保健福祉士指定科目履修見込証明書（卒業見込証明書を含む・国家試験受験用）」今年度国家試験受験予定者で所定の様式にて申請のあった方 随時発送

注意：国家試験の試験センターへの受験申込期日は10/3(金)までとなっています（消印有効）。

【H23年度以前入学者・旧カリキュラム】

2 「◆★精保演習」申込について

今年度11/15・16開講の「◆★精保演習」の申込みは9/15で締切りしました。受講申込受理条件判定日は10/15、受講許可通知は10/20に発送予定です。9/15の時点で条件を満たした方へは9/20までに受講許可通知を送付予定です。受講申込受理条件は『レポート課題集2014（社会福祉編）』p.268 “「精神保健福祉援助演習」スクーリング受講条件”を参照ください。今回受講申込受理条件を達成できなかった方は、次回申込締切は3/15です（開講日：次年度6月または7月頃開講予定）。

合同受講の特例

前号『With』101号のp.96に記載のとおり、受講希望者が所定の定員を超えた場合、あるいは、これに加え所定の定員に達しなかった場合は12/13・14開講の「■精保演習A」との合同受講となります。その場合、「◆

★精保演習」1単位めの提出期日は10/15ですが、2単位めの提出期日は「■精保演習A」の期日と同じ1/10までとなります。また、次年度「◆★精保実習」の受講申込受理条件について、「◆★精保演習」の単位修得条件は1月末の最終判定日まで満たせば良いこととします。

例) 10月末に「◆★精保演習」を除く実習申込受理条件の達成+1月末に「◆★精保演習」単位修得

なお12月の合同受講とならない場合であっても、「精保実習A選考試験(面接)」を除き、演習のスクーリング時間数、内容、演習中に実施される小テスト、評価方法等は「■精保演習A」と同様になります(注意『With』100号 p.79 “2「◆★精保演習」受講希望の方へ” p.81 “5「■精保演習A」受講希望の方へ”を必ず参照のこと)。小テストの出題範囲の通知は、11月受講の場合は10月中旬、12月合同受講の場合は11月中旬となります。

3 「◆★精保実習」(H27. 7/1~12/25) 申込について

次年度7/1~12/25の期間の「◆★精保実習」の申込みは9/15で締切りました。順次受講判定を行い、実習申込受理条件を満たした方から実習受入内諾依頼調整を行います(『レポート課題集2014(社会福祉編)』p.271~278参照)。入学年度により『学習の手引き』2002-2008◆版 p.83~、または2009-2011★版 p.98~の「V 精神保健福祉士国家試験受験資格」をご確認ください。「◆★精保演習」が12/13・14開講の「■精保演習A」との合同受講となった場合の「◆★精保演習」の単位修得条件の特例については前項2のとおりです。

【H24年度以降入学者・新カリキュラム】

(実習受講者・実習免除者共通)

4 「■精保演習A」(今年度12・1月開講) 受講希望の方へ

今年度12/13・14またはH27. 1/24・25の「■精保演習A」を受講希望の方は、11/30までに「■精保演習A」受講申込受理条件(『レポート課題集2014(社会福祉編)』p. 233【条件1】)を満たすよう、計画的に学習を進めてください(受講申込方法は、次号『With』103号(11/1 発送予定)にて案内予定)。

平成24年度から今年度4月入学までの在籍学生ならびに今年度10月入学の3年次編入学生で、次年度に「■精保実習A」の受講を希望する方は、上記「■精保演習A」を受講し「■精保実習A選考試験(面接)」に合格していることが必須となりますのでご注意ください。

なお、今年度10月入学の3年次編入学生で実習免除者の方は、上記日程のほか次年度(平成27年)6月または7月(開講予定)の「■精保演習A」の受講でも最短修業年数2年での卒業が可能です(申込締切:H27. 4/30)。

(実習受講者)

5 今年度「■精保実習A」(10/1~2/15) を受講する方へ

「■精神保健福祉援助実習A事前指導」受講時のガイダンスで説明したとおり、実習開始までに、①巡回指導を行なう実習担当教員への挨拶(通知受理後)、実習機関への礼状(封書)送付、事前訪問(実習指導者への「実習計画案」の内容確認→「実習計画書」の作成→2部を本学へ提出)の作業をガイダンス受講後遅くとも20日以内に完了してください。

実習機関への正式依頼は、提出された「個人記録」「健康診断書」等の

書類を添えて、実習開始日の1カ月前に行われます。

また、「■精保実習A」の受講条件（『レポート課題集2014(社会福祉編)』p. 233【条件4】）を満たした方から、『実習記録（冊子）』と一緒に「■精神保健福祉援助実習A事後指導（精保演習B-2・実習指導A-2・帰校指導・精保実習B選考試験）受講申込カード」を9月下旬～10月上旬に送付します（提出期日：10/31必着）。

『試験・スクーリング情報ブック2014』p. 39, 『レポート課題集2014(社会福祉編)』p. 242「レポート課題 2単位め」およびp. 252「課題3」を参照のうえ、受講日（H27. 1/24・25または3/7・8）ごとに指定された期日までに課題に取り組んでください（受講許可通知は11月中旬発送予定）。

『実習記録』の取り扱いについて

実習期間中、日々記録を行い、適宜ページを切り離して実習指導者に提出し、実習終了後、最終頁の「実習のまとめ」を記入し、すべての記録を冊子にまとめた状態で実習指導者に提出してください。その際、実習指導者に「講評」欄に講評を記入し、「評価表」「出勤簿」と一緒に「実習記録」を直接本学に送付いただくよう伝えてください。実習終了後は「実習記録」は手元になくなるため、「精保実習A事後レポート」作成用に実習指導者に提出する前にコピーを取っておくことをお勧めします。なお「実習記録」は最終的に実習生に返却されます。実習指導者の「講評」の内容確認は、「評価表」の開示も含め、実習事後指導以降に可能となります。

6 次年度「■精保実習A」（H27.10/1～2/15）を受講希望の方へ

平成26年度4月入学以前の新たなカリキュラム対象者については、「精神保健福祉援助実習A受講希望届【様式1】」等の「■精保実習A受講希望届

出様式」の配付希望受付は8/31で締め切りしました。【様式1・2・3】に必要事項を記入し、11/30までに申込みを行ってください。

今年度10月入学の3年次編入生で次年度「■精保実習A」の受講を希望する方については、入学出願時に提出の「精神保健福祉援助実習A受講希望届【様式1】」等の内容に沿って実習受入の内諾依頼調整を行います。

7 今年度「■精保実習B」(7/1~12/25)を受講する方へ

「■精神保健福祉援助実習A事後指導(精保演習C-2・実習指導B-2・帰校指導)受講申込カード」を9/30までに送付します(提出期日:10/31(金)必着)。

8 次年度「■精保実習B」(H27.7/1~12/25)を受講希望の方へ

次年度「■精保実習B」の受講申込みは9/15で締め切りしました。3/31までに「■精保実習B」受講条件I(『レポート課題集2014(社会福祉編)』p.233・234【条件5】①~④)を満たすよう計画的に学習に取り組んでください。なお、【条件5】に指定される科目が未履修の方は、11月に追加履修登録を行ってください(次号『With』103号参照)。

実習機関への受入内諾依頼について

前項6・8については11月下旬以降、順次実習機関への受入内諾依頼調整を行ってまいります。次年度からは実習指導者の資格要件として「精神保健福祉士の資格取得後3年の実務経験」「実習指導者講習会を修了済みであること」の2つが必須となります。そのため、現在契約している実習機関であっても条件を満たさない機関は対象外となることから、実習先確保が難航することが予測されます。鋭意実習先の確保に努めてまいります。

すが、入学時に誓約・承諾いただいた「所在地域での実習が不可能となる場合」があること、また本学では大学が実習機関を指定する「配属実習」の方式を採用しているため、実習希望者との十分な調整を図ったうえで、これに従っていただくことを予めご了承ください。

(実習免除者共通)

9 「■精保演習A」(今年度12・1月開講) 受講希望の方へ

前項4を参照ください。今年度1/24・25の「■精保演習B(実習免除者)」の受講を希望する方は12/13・14の受講が必須となります。

10 今年度「■精保演習B(実習免除者)」(H 27.1/24・25開講)を受講希望の方へ

次号『With』103号でご案内します。

7 教職免許状 取得希望の方へ

本学の通学課程の学部学科再編にともない、文部科学省からの教職課程の教員数ルール等の制約により、実習受講年度については、これまでご案内のとおり、平成29年度までに介護実習・教育実習(福祉科)・教職実践演習・障害者教育実習の受講を終えていただくようお願いいたします。実習や教職実践演習以外は、平成30年度も学習を継続できます(詳細はp.68~69参照)。

下記受講条件のある科目について、条件を『レポート課題集2014(心理・教職編)』などで確認し、学習計画をたててください。

また、これまでに一度も履修カルテの配付を受けたことなく、教育実

習を必要とする形で高等学校教諭一種免許状（福祉）の取得を希望する方は、学籍番号・氏名・教育実習を必要とする形で高等学校教諭一種免許状（福祉）の取得を希望の旨を通信教育部教職免許係あてに書面（郵送またはメール uc@tfu-mail.tfu.ac.jp または FAX022-233-2212）で10/15までにお知らせください。

●高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者

- ・「介護実習事前指導 介護技術」スクーリング→「介護実習」
- ・「教育実習事前指導」スクーリング* →「教育実習」* →「教職実践演習」スクーリング* 毎年1回「履修カルテ」** 提出必要

*：記載の3科目＝6条別表4（教育職員検定）での取得者は履修不要

**：福祉科免許状取得希望者で、今後「教職実践演習」を受講必要と思われる10月生の方には、9/12に「履修カルテ」をお送りしました。今後「教職実践演習」を受講必要な方は、毎年1回学習状況を振り返り、「履修カルテ」を提出いただくことになっております（提出締切10/25）。未着の方または4月生で未提出の方は、教職免許係まで任意の書式の書面（メール・FAX・郵送）でお申し出ください。

●特別支援学校教諭一種免許状 取得希望者

「障害者教育実習事前指導」スクーリング→「障害者教育実習」

実習依頼にあたって特別な手続きを要する地域（広島県・川西市・神戸市・北九州市など）および仙台市内の7つの特別支援学校（『With』101号p.102）での27年度実習希望者は至急通信教育部まで書面でお知らせください。

なお、北海道および東京都での27年度実習の申込みは締め切りました。

その他、『With』101号p.101～103などもご確認ください。

101号でご案内の「視覚障害教育総論」の追加スクーリング（12/24～26 8：50～17：20＝通学課程の集中講義を受講）受講希望の方は次号の『With』でお申込みください。ただし、このスクーリングを受けると「発達障害教育総論」「聴覚障害教育」は受講できなくなります。

8 幼保特例講座受講の方へ

●郵送用レポート用紙のコピーについて

4月生の方と10月生第1期入学の方へは、郵送でレポートを提出する際の注意点として『幼保特例講座 科目ガイド』p. 2で、再提出になる場合などに備えて「レポート課題（解答用紙含む）」のコピーを取っておくようご案内しておりましたが、書面での新しいレポート用紙申込みの方法に変更いたしました。

再提出になった場合は、①レポート用紙再送付希望の旨・再提出科目名・学籍番号・氏名を記入した書面（様式自由）と、②15円分の切手を郵送ください。

なお、解答後のレポート用紙はオレンジ色の表紙からはがさずにコピーを取っておいてください。

●10月新入生の方へ

(1) 入学許可時に送付されたものをご確認ください

幼保特例講座を科目等履修生で受講する方には下記の冊子を送付しています。

- ・『With』
- ・『試験・スクーリング 情報ブック2014』
- ・『学習の手引き 2014』（p. 149～154からお読みください）。

- ・『幼保特例講座 科目ガイド』（レポート提出上の留意点も記載）

(2) 『With』について

幼保特例講座受講生も『With』は毎号送られますが、科目等履修生で受講する方でとくに重要なのは下記のページです。

- ・ 3部 科目修了試験のご案内
 - ・ 受験希望者は巻末ハガキでのお申込みをお忘れなく。
 - ・ 受験科目のレポート提出期限は試験申込締切日必着です。
 - ・ 「TFUオンデマンド」上での解答の場合は申込締切日までに合格が必要です。
- ・ 8部（または7部など） 幼保特例講座受講の方へ

なお、各種印刷物（『学習の手引き』など）の修正点なども、『With』でご案内いたします。

(3) 『試験・スクーリング 情報ブック2014』について

入学時に送付された『試験・スクーリング 情報ブック2014』は、「2部 科目修了試験」と「6部 会場案内」がとくに大切になります。なお、レポートを郵送で提出する方は「1部 通信教育部カレンダー」に記載の「レポート受付日」までの提出を目安に努力してみてください。

(4) 入金後に送付されたものをご確認ください

- ・ 履修登録科目と教科書が書かれた用紙（保管ください）
- ・ 履修登録科目のレポート
- ・ 履修登録科目の教科書

不足があれば、到着後10日以内にお申し出ください。

学生証と氏名バーコードシールは、入学許可通知に同封の手紙に記載の日以降にお送りいたします。

(5) レポート提出・科目修了試験受験について

10月生として入学された方は、10月1日以降からレポートの提出（もしくはwebレポート解答）、および科目修了試験の受験が可能となります。

す。

今回の『With』でご案内している10月科目修了試験にぜひ申し込んでみてください。なお、科目修了試験の申込みには、申込締切日までにレポート提出（もしくはwebレポート合格）が必要です。

●保育士資格取得希望の方へ

(1) 「乳児保育」スクーリングの受講申込について

今回の『With』には、12月13・14日の「乳児保育」スクーリングの受講案内が掲載されていますので、10月生および未受講の方は巻末のハガキ（秋期スクーリングⅢ受講申込みハガキと共通）を使用してスクーリングの申込み手続きを行ってください。

12月の「乳児保育」スクーリングを受講・合格し、その他の科目も3月までに単位修得すれば、平成27年4月～5月中旬の保育士試験に受験申請可能です（全科目免除にて7月頃に合格通知が届きます）。

今回の「乳児保育」スクーリングを受講しない場合は、平成27年8月のスクーリング（日程未定）を受講できますが、その場合の保育士試験の受験申請は平成27年10月以降になります。

(2) 「相談支援」スクーリングについて

「相談支援」はスクーリング任意受講科目ですが、受講を希望する方は、『With』103号で案内予定のオンデマンド・スクーリング（12/15：申込締切 12/25～2/10：視聴期間 2/10在宅試験締切）か、もしくは平成27年8月開講予定（日程未定）の会場スクーリングを受講可能です。

(3) 「福祉と養護」「保健と食と栄養」科目修了試験実施方法変更について

※「福祉と養護」は、問題が公開となりました。すべての回の問題は同じです。教科書の持込みは不可です。

≪「福祉と養護」科目修了試験問題≫

「児童の権利」の歴史的展開を説明するため、以下の語句を必ず文中に用いて、1,200字程度で論述してください。また、用いた箇所に下線を引いてください。

(児童の権利宣言、最善の利益、受動的権利、能動的権利、児童の権利に関する条約)

※「保健と食と栄養」は、教科書持込み可となりました。

この科目では、1回の試験で2問出題されますが、問1の担当教員から以下のアドバイスを追加いただきました。参考にしてみてください。

- ・自身の経験にもとづく考えを述べるだけでなく、教科書に記載されている内容をふまえた解答をしてほしい。
- ・問1については、A4解答用紙の表面7～8割程度は埋めるようにしてほしい。ただし、ポイントごとに箇条書きで短くまとめてもよい。
- ・解答は、ポイントをおさえて問題に沿った内容となるようにしてほしい。

●幼稚園教諭免許状取得希望の方へ

幼稚園教諭免許状取得科目はすべて「レポート+科目修了試験」で単位を修得します。『試験・スクーリング情報ブック2014』p.48～49記載の日程で科目修了試験を申込み・受験してみてください。

なお、「教職論（特例）」は『幼保特例講座 科目ガイド』で問題が公開されています。「初等教育課程の意義と編成」「幼児理解と保育相談」は、在宅web科目修了試験の受験も可能です。

※幼保特例講座受講者のなかで9/10時点で45名の方が8単位修得となりました。皆様も後に続いていただくようにご努力を願っております。

第37回 総合リハビリテーション研究大会 ご案内

阿部一彦先生からご紹介があり、障害者福祉に関心のある方には興味深いと思われる講演・シンポジウムが仙台で開かれますので、ご案内いたします。

日時 2014年10月11日(土)～10月12日(日)

会場 仙台市情報・産業プラザ（AER） 5階 多目的ホール

参加費 学生 1,000円

本大会では、「総合リハビリテーションの深化を求めて－当事者の「社会参加」向上と総合リハビリテーション－」というテーマのもとに当事者（高齢者・障害者・被災者等）主体の総合リハビリテーションがめざす「社会参加の向上」を図るうえでの課題を具体的な実践に基づきながら整理し、それらの課題解決に向けた方略について検討を行います。

■大会プログラム

10月11日(土) 9:30 開始

9:40～10:40

講演Ⅰ「障害者をめぐる動向－ポスト2015開発目標策定等をめぐって－」

講師：松井 亮輔

（(公財)日本障害者リハビリテーション協会副会長）

講演Ⅱ「障害者をめぐる動向－障害者権利条約の批准と今後の制度改革－」

講師：藤井 克徳（日本障害フォーラム 幹事会議長）

10:50～12:00

講演Ⅲ「障害保健福祉施策の動向」

講師：川又 竹男（厚生労働省障害保健福祉部企画課長）

13:00～15:30

シンポジウムⅠ「総合リハビリテーションに求めるもの－被災地からの発信－」

15:40～16:40

基調講演「宮城県における障害者支援について」

講師：阿部 一彦（東北福祉大学教授）

17：00～20：00

同時開催 ICF研修会「総合リハビリテーションにいかすICF」
講師：上田 敏・大川 弥生 参加費 学生800円

10月12日(日) 9：30～16：00

シンポジウムⅡ「『社会参加』向上に向けた
総合リハビリテーションのあり方」

東北福祉大学 ウィークエンド坐禅会へのお誘い

今年も東北福祉大学では、大学の社会貢献の一環としてウィークエンド坐禅会を地域内外の方々のために、下記の通り開催いたしております。

参加資格は問いません。お申込みのうえ開始時間までに坐禅堂の前にご集合ください。

記

主催：東北福祉大学 仏教専修科・生涯学習支援室

開講期間：9／6～12／20の各土曜日

※都合により、日程が変更になる場合があります。

時間：午前9時～10時30分（10時からは茶話会です）

場所：東北福祉大学 坐禅堂（国見キャンパス内）

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

参加費：無料

講師：東北福祉大学 仏教専修科講師 半崎義宗老師 他

申込み・問い合わせ：生涯学習支援室

電話→022-380-1067(直通)

メール→bussen@tfu-mail.tfu.ac.jp

ホームページ→www.tfu.ac.jp/bussen/

※事前申し込みをしていなくても、当日余裕があれば、坐禅できます。

